

炭 竈 ふく代 議員



JR弥富駅周辺の 今後の将来像は

問

現在、JR弥富駅周辺は道幅が狭く、車、人などが行き交う混雑時は、非常に危険な状況である。以前に道路拡幅整備を考えた旨、回答があつたが、早急に整備すべきと考える。

さらに、同駅周辺の南北自由通路の設置、駅舎橋上化は、経済効果の向上や防犯にもつながると思うがどうか。

また、海部南部農協弥富支店の移転が行われているが、駅北側の用地利用も含め、今後の駅周辺整備についての総合計画の位置付けについて伺う。

市民の意見を聞き
総合計画に反映する

答 市長

駅周辺整備については、過去30年ほど前から議論がされていると聞いているが、市の新しい顔づくりには、駅周辺の再開発が非常に重要だと認識している。

今後市民の意見を聞き、協力を得ながら協議を重ね、新市総合計画や都市計画マスタープランの中に反映したい。

農協移転については、整備方針を確認した上で、総合的に判断する。

妊婦無料健診の 拡大を

問

現在、妊娠前期と妊娠後期の2回分が無料で、県外での健診には費用補助がさ

れている。

国の財政措置で19年度に妊産婦健診への助成を含む少子化対策に充てる地方交付税が約700億円に拡充されるが、この機会に子育て支援事業の一環として回数拡大をしてはどうか。

無料健診回数 の拡大を検討

答 市長

妊婦無料健診は、県から事務移譲された経緯で、県が示した基準の2回を公費負担で実施している。

1月に厚生労働省から、妊婦健康診査の公費負担の拡充に対し、国が財政措置を行うことが通知された。県では今後、県医師会と健診内容と単価の交渉を行うと聞いており、その動きを受けて回数拡大を検討したい。

問

大府市が4月から妊産婦無料健診を3回から15回に増やしたが、市においても同様な取り組みをしてはどうか。

答 市長

全体的な医療費の枠組みの中で、この妊産婦の問題を考え、回数が少しでも多くなるよう検討したい。



▶ JR弥富駅舎(綱浦町地内)